

令和5年度

まちづくり推進部 大森地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大森地域局
局長名	内桶 圭時

1. 局の使命(ありたい姿)

多様な地域資源を活用し、地域住民との協働により「人・心・ふれあう郷土(まち)おおもり」を目指して、「人にやさしい特色ある地域づくり」を推進。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1) 地域資源の活用による地域の活力と賑わいの創出。
- (2) 地域全体での見守り体制を強化するため、支援を行う関係者間の連携を密にし、安全・安心な地域づくりが必要。
- (3) 住民に信頼される地域局となり、適切なサービスの提供が必要。

3. 今年度の『スローガン』

住民の声をしっかり受けとめ、信頼される地域局になろう！
～今やる、すぐやる、明るく元気に柔軟に～

4. 今年度の方針

- (1) 大森リゾート村を含む地域資源の活用による地域の活力と賑わいの創出。
- (2) 住民協働による、安全・安心な住みよい地域づくり。
- (3) 適切なサービスの提供につなげ、住民に信頼される地域局を目指す。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	大森リゾート村を含む地域資源の活用による地域の活力と賑わいの創出
	取組内容	①地域資源である「大森リゾート村」全体を俯瞰して描き、住民協働による魅力アップのための取り組みを行い、賑わいの創出を目指す。
(2)	実現したい成果	住民協働による、安全・安心な住みよい地域づくり
	取組内容	①民生児童委員等による、行政では手の届かない地域活動の中で得られた住民の動向や問題点を、関係者間で連携を密にし、早期発見につなげていく。 ②降雨時等に危険個所のパトロールを実施するとともに、平常時において「火災予防・交通事故防止・防犯」の啓発を行う。また、適切な報連相の実施で、管理施設での瑕疵事故や作業事故を防止する。
(3)	実現したい成果	適切なサービスの提供につなげ、住民に信頼される地域局を目指す
	取組内容	①来庁者や職員同士のあいさつの励行。 ②丁寧な聴き取りと分かりやすい説明の徹底。 ③職員一人ひとりが積極的に研修に参加し、個々のスキルアップを図る。 ④デジタル社会の推進と市民の利便性向上のため、「マイナンバーカード」の普及促進に取り組む。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)大森リゾート村を含む地域資源の活用による地域の活力と賑わいの創出
さくら荘では季節に応じた様々なプランや合宿とのタイアップ、各種団体向けの会食・宴会プランを企画し集客増(前年比26%増)につなげた。
大森公園テニスコートは知名度も上がってきており、全県・東北規模の大会も開催され5か月間の延べ利用数は10,267人となり、前年比で2%程利用者が増加している。
5月11日から5月17日までの7日間、大森リゾート村を会場に4年ぶり15回目となる「芝桜フェスタ」を開催し、県内外から15,711名のお客様に来場いただき、約10万株の芝桜を楽しんでいただいた。
芝桜の再生に向け除草作業と補植を行った。また、大森公園内の草刈り作業等を行い適正な公園管理に努めた。
令和7年度からの体育施設の指定管理に向け、関係各課との協議を始めた。
- (2)住民協働による、安全・安心な住みよい地域づくり
①6月から7月にかけて熱中症予防対策と受診勧奨を目的として民生委員と連携しながら高齢者世帯、8050世帯、ひきこもり世帯合わせて174世帯へ訪問を実施した。個々に事業案内を行い必要な支援に結びつけた。また、7月から9月1週目にかけて毎日2回ずつ防災無線により熱中症予防を呼びかけた。
②交通指導隊や交通安全協会各支部との協力により、7月21日「交通死亡事故ゼロ5,000日」を達成することができた。
月1回以上の道路パトロールの実施や市民からの情報があった場合は速やかに現地確認することで、危険箇所の早期発見、修繕を行い現在まで瑕疵事故0件となっている。
消防団と連携し火災予防運動やパトロールの実施、火災予防チラシの配布や防災無線での啓発を行った。
7月の大雨時パトロールを実施し、管理施設の被害把握に努め早期に修繕を行った(道路災害1件)。
- (3)適切なサービスの提供につなげ、住民に信頼される地域局を目指す
①②来庁者へ声かけや誘導を行い、地域局の良さを生かしながらひとりひとりに丁寧な聴き取りと説明をした。また、電話対応も含め明るく元気にあいさつし、丁寧な対応を行った。
③自発的な研修の受講を推奨し、協力しながら交代で個々のスキルアップを図った。
④マイナンバーカードの普及促進にむけ、休日窓口を上期に計3回開設しました。また来庁時の声掛けや電話等によりカードの受取やポイント申請を勧奨した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)大森リゾート村を含む地域資源の活用による地域の活力と賑わいの創出
・冬期間に向けた賑わいの創出として、さくら荘を活用した宿泊プランや会食・宴会プランの企画、積極的な情報発信と営業活動を行う。また、大森スポーツフェスティバルの開催や、年末年始にさくら荘周辺で「イルミネーション」の点灯を行う。
・翌年度に向けて、緑地及び管理施設の適正な維持管理を行う。
・体育施設の来年度の指定管理募集に向け、管理基準等の詳細について検討していく。
- (2)住民協働による、安全・安心な住みよい地域づくり
・年度上期に行った特定健診の結果により、訪問や電話等で精検勧奨や特定保健指導を行う。
・地域の小学校に出向き、認知症サポーター養成講座やS・O・S講座を行い市民協働により地域全体での見守り体制を強化する。
・交通安全、事故の抑制について、交通指導隊や交通安全協会各支部と連携して啓蒙活動を行っていく。
・火災予防運動やパトロール、防災無線での啓発活動を消防団と連携し行っていく。
・引き続き定期及び災害時パトロールの実施や、市民からの情報提供への迅速な対応により瑕疵事故防止に努める。
・直営路線と委託路線の検討を行い今冬の除雪体制を構築するとともに、安全管理を徹底し作業事故ゼロを目指す。
- (3)適切なサービスの提供につなげ、住民に信頼される地域局を目指す
・引き続き来庁者へ積極的な声掛けや誘導を行い、ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら地域局の良さを活かした丁寧な対応を行う。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)大森リゾート村を含む地域資源の活用による地域の活力と賑わいの創出

- ・さくら荘にて宿泊プランや季節に応じた会食・宴会プランを企画し、積極的な情報発信と営業活動を行い前年度比較で14.6%増となった(年末年始にさくら荘周辺で「イルミネーション」を実施)。引き続き、各部門が一体となり利用者の満足度向上に繋がる取り組みを進めていく。
- ・大森地域スポーツフェスタとして7種目の講習会や交流大会を行った。特に硬式テニスプロプレイヤーの招聘は市内外の愛好者から好評であった。
- ・芝桜の再生に向け、5月に4,300株の補植、10月に上段花びら周辺に防草シートを新設、3,500株の植栽を実施。また、大森公園内の草刈り作業及び桜のてんぐす病除去作業などを実施し適正な公園管理に努めた。なお、次年度も「芝桜フェスタ」を開催することに決定した。
- ・令和7年度からの体育施設の指定管理に向け、今年度の協議内容を踏まえ準備を進めていく。

(2)住民協働による、安全・安心な住みよい地域づくり

- ・安全な交通確保に向け月1回以上の道路パトロールの実施や市民からの情報を受け速やかに現地確認することで、危険箇所の早期発見、修繕を行い瑕疵事故は0件であった。
- ・昨年度雇用されていた除雪作業員への意向調査や、新規作業員の募集を行い市直営作業員を確保することができた。委託業者については早期に決定し、今冬の除雪体制を整えた。また、朝礼の実施や事故事例を紹介する等の注意喚起を行った結果、今冬の作業事故は0件であった。

(3)適切なサービスの提供につなげ、住民に信頼される地域局を目指す

- ・明るいあいさつなどの声かけにより来庁者が安心して手続きや相談ができるような環境を心がけ、ひとりひとりの気持ちに寄り添い丁寧な対応を行った。また、年間を通して均一的なサービスを提供するため、協力しながら交代で研修を受講し個々のスキルアップを図り市民対応に活かした。
- ・マイナンバーカードの普及促進を目指し、電話での受取勧奨や休日臨時窓口(3回)を開設し、滞留カード(未交付者)を大幅に減らした(R5.2月末25枚)。今後もカード受け取りに困難を抱える市民の要望を聴きながら、各々が負担なく受け取る方法を工夫し対応していく。
- ・引き続き局内で課題を共有する機会を持ち、地域住民からいちばん近い市役所であり続ける。